

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ（第8次）

2021年4月28日

日本共産党杉並区議団

4月25日、3度目となる緊急事態宣言が出されました。3月21日に2度目の宣言が解除されてから僅か一カ月余りの再発令であり、その間のまん延防止等重点措置を含めた行政の感染防止対策が効果を発していないことは明らかです。

新型コロナウイルスは無症状の感染者も感染源となることから、症状が出ている感染者とその濃厚接触者だけを特定しても、感染拡大を封じ込めることはできません。

高齢者施設職員への定期的なPCR検査の実施や、検査バスによる若年層のモニタリング検査の実施については評価するところではありますが、依然として規模が小さく、さらなる拡充が必要であり、無症状感染者を発見・保護するためのPCR検査等を抜本的に拡充することは急務中の急務です。

また、ワクチン接種のクーポン券の発送もはじまっていますが、電話予約・問い合わせが有料であること、65歳から74歳の方の予約申し込みがクーポン券の到着順であることなど、区民から不満の声が上がっており、区民の立場に立った対応、改善が必要です。

よって、下記の通り対策をとるよう要望いたします。

### 記

#### 1. 感染症対策の抜本的拡充

- ① 無症状者を含むPCR検査の抜本的な拡充、いわゆる「社会的検査」を、高齢者施設だけでなく、医療機関や障害者施設、小中学校、保育施設、幼稚園などにも広げ、頻回・定期的の実施すること。また、そのための体制を整えること。
- ② 検査バスを使用したモニタリング検査について、実施場所、実施日数、実施検査数、対象年齢を拡充し、区内の感染状況を把握すること。また、その結果を区民に公表すること。
- ③ 生活衛生課分室での変異株スクリーニング検査について、検査結果を区HPや区広報等で区民に公表すること。
- ④ 東京都に対し変異株のスクリーニング検査を全陽性者に実施するよう求めること。

#### 2. 大型連休中の対応について

- ⑤ 大型連休中の検査・医療体制や福祉に関する相談体制を確保すること。また、生活保護の申請など、緊急な手続きが行える体制を整えること。

### 3. ワクチン接種事業について

- ⑥ 地域医療機関での接種を具体化し、接種が行える医療機関を早期に明らかにすること。
- ⑦ ワクチン接種コールセンターでの電話予約や電話相談の電話料金は無料にすること。
- ⑧ 65歳から74歳の方の予約受付開始日をクーポン券が届き次第とするのではなく、日時を定め公平性を保つこと。
- ⑨ 高齢者や障害者など接種会場に行けない区民に対する移動手段（送迎、タクシー券配布など）を具体化すること。
- ⑩ ワクチンの確保数や確保スケジュール、接種実施数や予約状況について、HPや広報などで区民に知らせること。

以上